

県内の景気動向

概況（2022年3月）

景気は、下げ止まりの動きがみられる

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

消費関連は沖縄県におけるまん延防止等重点措置が全面解除されたことで、消費マインドの向上がみられ、下げ止まりの動きがみられること（上方修正）、建設関連は民間工事に再開の動きがみられるが、資材価格の上昇などを受け弱含んでいること、観光関連は一部地域へのまん延防止等重点措置が適用されていたものの、特に月後半より旅行需要の高まりがみられ、下げ止まりの動きがみられること（上方修正）から、総じて県内景気は下げ止まりの動きがみられる（上方修正）。

消費関連

百貨店売上高は、10カ月ぶりに前年を上回った。新生活や新年度に向けた商品展開、催事企画による集客増などが寄与した。スーパー売上高は、巣ごもり需要の継続がみられ食料品が増加したことなどから既存店・全店ベースともに2カ月ぶりに前年を上回った。新車販売台数は、半導体をはじめとする部品供給不足により新車供給の停滞が続いたことなどから、10カ月連続で前年を下回った。電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売で白物・電子レンジ、エアコンなどが減少したことなどから10カ月連続で前年を下回った。

先行きは、新型コロナウイルスの影響により引き続き不透明感はあるものの、人流回復に伴う消費マインド向上が期待され、徐々に持ち直しに向かうとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、市町村は減少したが、国、県、独立行政法人等・その他は増加したことから、5カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積（2月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから5カ月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数（2月）は、持家は増加したが、貸家、分譲、給与は減少したことから2カ月連続で前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事は減少したものの、民間工事は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメントは3カ月連続で前年を下回り、生コンは21カ月連続で前年を下回った。鋼材売上高は鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により単価の上昇がみられることなどから前年を上回り、木材売上高は需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから前年を上回った。

先行きは、民間工事に再開の動きがみられるものの、資材価格が上昇していることなどから弱含むとみられる。

観光関連

入域観光客数は、4カ月連続で前年を上回った。国内客が増加し、外国客は引き続き0人となった。県内主要ホテルは、稼働率、売上高は4カ月連続で前年を上回り、宿泊収入は4カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は2カ月ぶりに前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに2カ月ぶりに前年を上回った。前年同月は緊急事態宣言が発出されていた反動増もあるが、春休みの旅行需要のほかワクチン接種が普及していることなどを受け、人流回復の兆しがみられる月となった。

先行きは、日本入国時の水際対策措置は段階的に緩和される見込みであるものの、外国客が動き出すのは時間を要しよう。国内においては、足元では新型コロナウイルスの影響により引き続き不透明感はあるものの、ワクチン接種が進んでいることなどから人流回復が期待され、持ち直しに向かうとみられる。

雇用関連

新規求人数は、前年同月比 16.0%増となり 12 カ月連続で前年を上回った。サービス業、卸売・小売業などで増加した。有効求人倍率（季調値）は 0.85 倍で、前月より 0.01 ポイント低下した。完全失業率（季調値）は 3.2%と、前月より 1.2 ポイント低下した。

その他

消費者物価指数は、前年同月比 1.2%の上昇となり、6 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 1.2%の下落となった。

企業倒産は、8 件で前年同月を 3 件上回った。負債総額は 9 億 3,500 万円で、前年同月比 83.7%減となった。

りゅうぎん調査（2022年3月）

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2022.1-2022.3)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	3.3	▲ 6.7
(2) スーパー(既存店)(金額)	1.5	0.3
(3) スーパー(全店)(金額)	1.9	1.0
(4) 新車販売(台数)	▲ 18.2	▲ 21.3
(5) 電気製品卸売(金額)	▲ 7.6	▲ 12.1
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	60.8	61.2
(2) 建築着工床面積(m ²)	(2月) ▲ 32.0	(12-2月) 4.7
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(2月) ▲ 27.8	(12-2月) ▲ 10.5
(4) 建設受注額(金額)	P 35.1	P 11.5
(5) セメント(トン数)	▲ 0.7	▲ 3.9
(6) 生コン(m ³)	▲ 3.5	▲ 11.6
(7) 鋼材(金額)	P 7.3	P 17.8
(8) 木材(金額)	13.9	14.8
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	38.9	45.8
うち外国客数(人数)	0.0	0.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 10.9	(前年同期差) 7.8
	(実数) 33.8	(実数) 24.7
(3) " 売上高(金額)	13.7	27.9
(4) 観光施設入場者数(人数)	P 16.1	P 13.2
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	0.7	▲ 1.3
(6) " 売上高(金額)	8.3	0.2
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	16.0	16.7
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数) 0.85	(実数) 0.85
(3) 消費者物価指数(総合)	1.2	0.8
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 3	(前年同期差) ▲ 3
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(2月) ▲ 6.9	(12-2月) ▲ 2.5

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2021年11月より調査先を28ホテルから27ホテルとした。

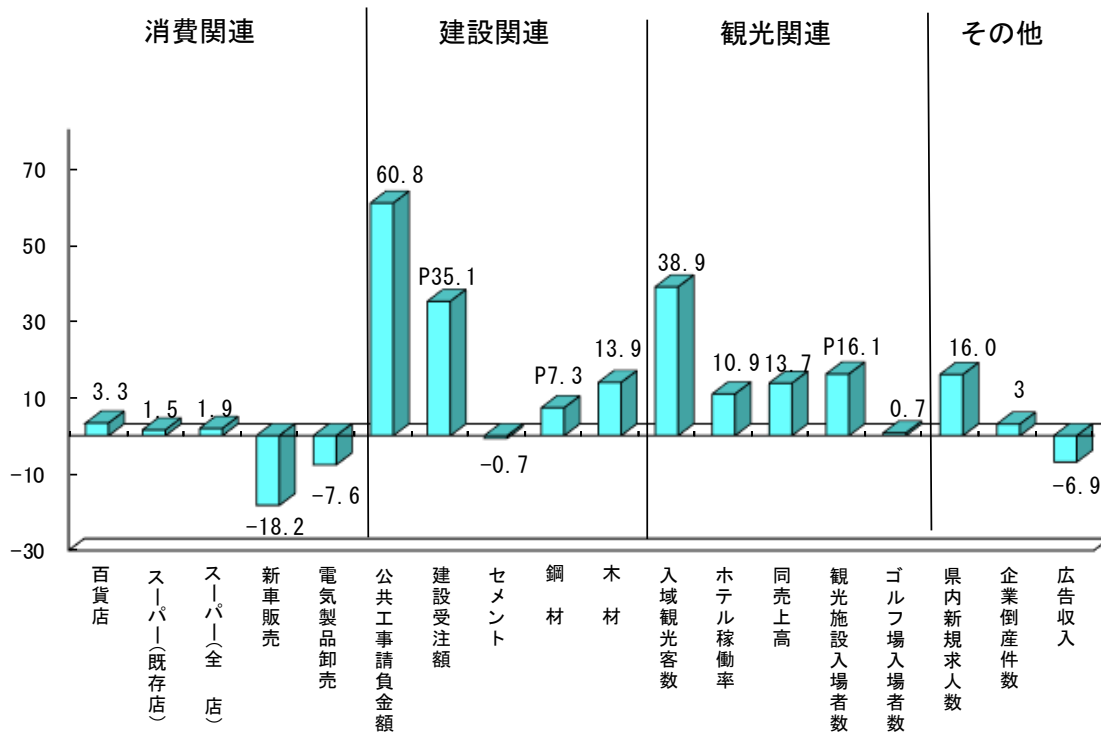
(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

(注6) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

(注7) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

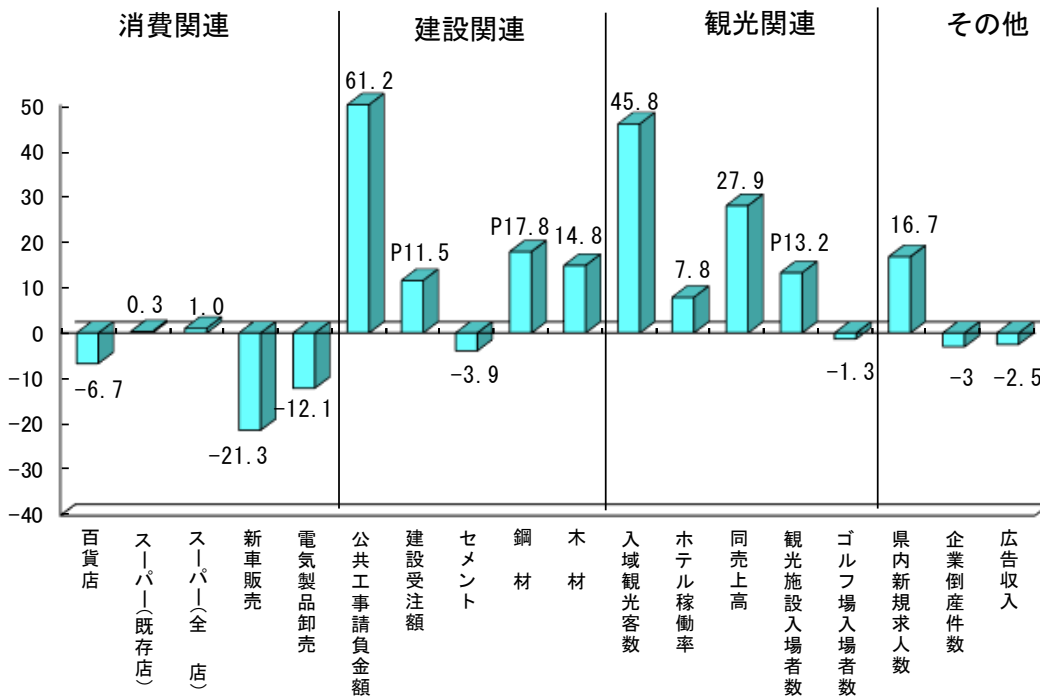
(注8) ゴルフ場は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

項目別グラフ(単月、2022年3月)



(注) 広告収入は22年2月分。数値は前年比(%)。Pは速報値。
 ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

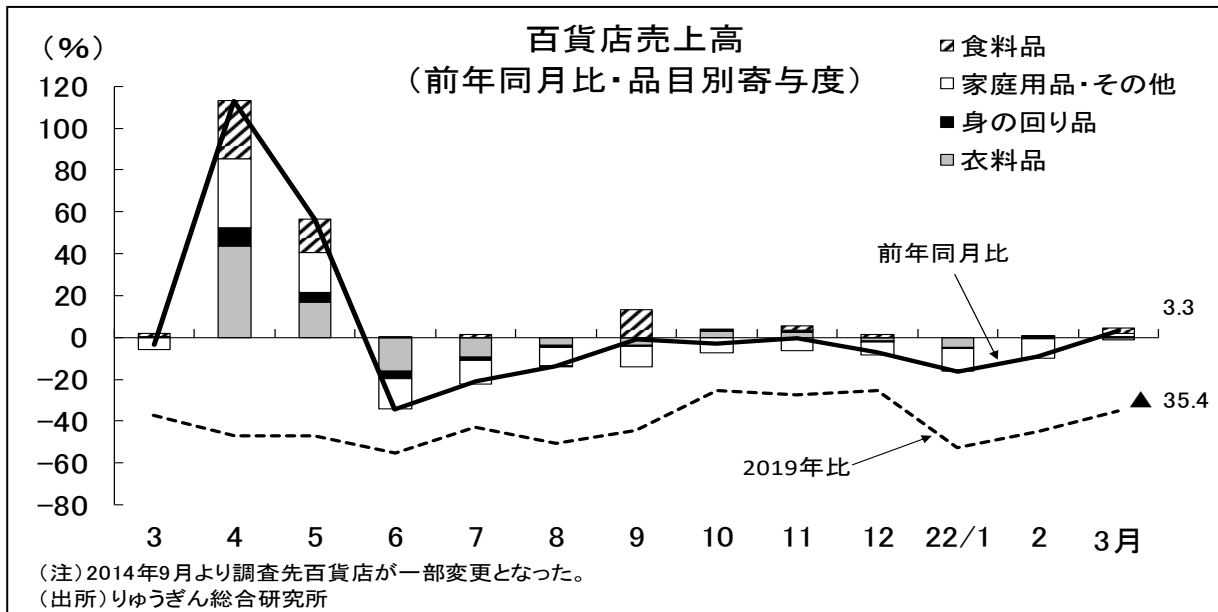
項目別グラフ(3カ月、2022年1月～2022年3月)



(注) 広告収入は21年12月～22年2月分。数値は前年比(%)。
 ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

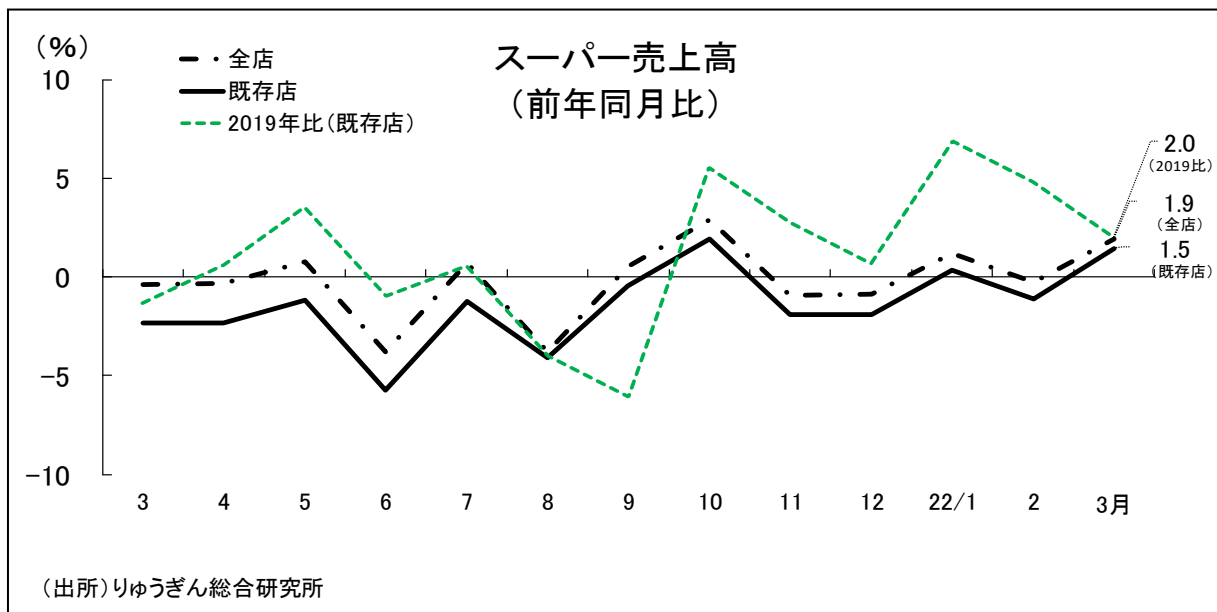
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：10 カ月ぶりに増加



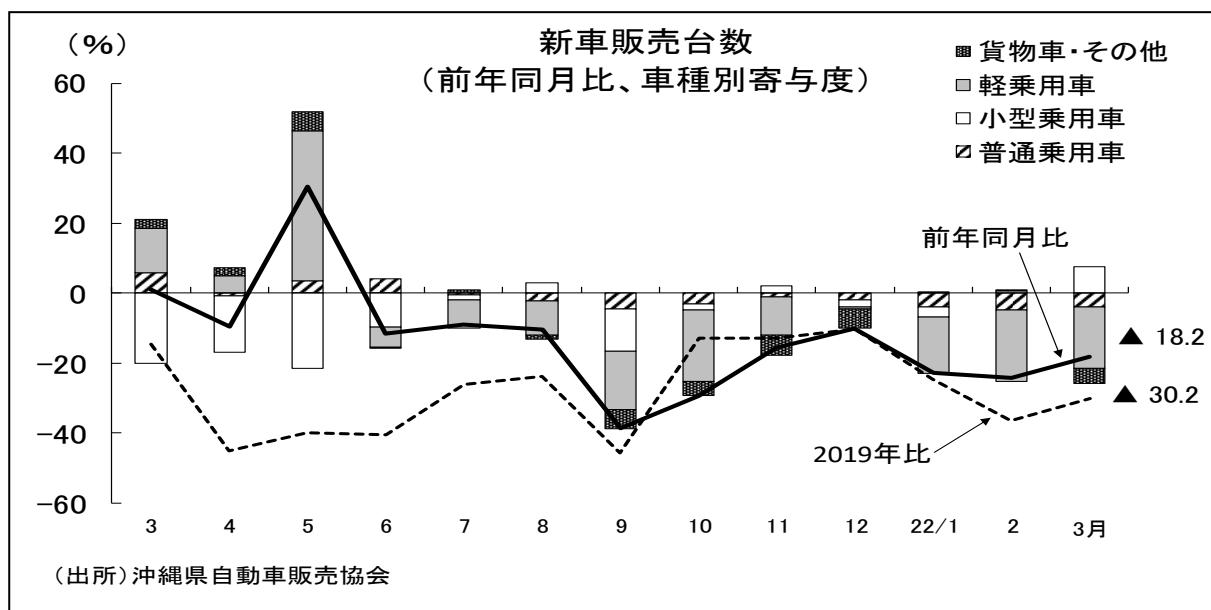
- 百貨店売上高は、前年同月比 3.3% 増と 10 カ月ぶりに前年を上回った。新生活や新年度に向けた商品展開や、催事企画による集客増などにより前年を上回った。
- 品目別にみると、食料品が同 7.6% 増、衣料品が同 4.5% 減、身の回り品が同 3.9% 増、家庭用品・その他が同 6.4% 増となった。
- 新型コロナ以前の 2019 年と比較した伸び率は、35.4% の減少となった。

(2) スーパー売上高：全店ベースは 2 カ月ぶりに増加



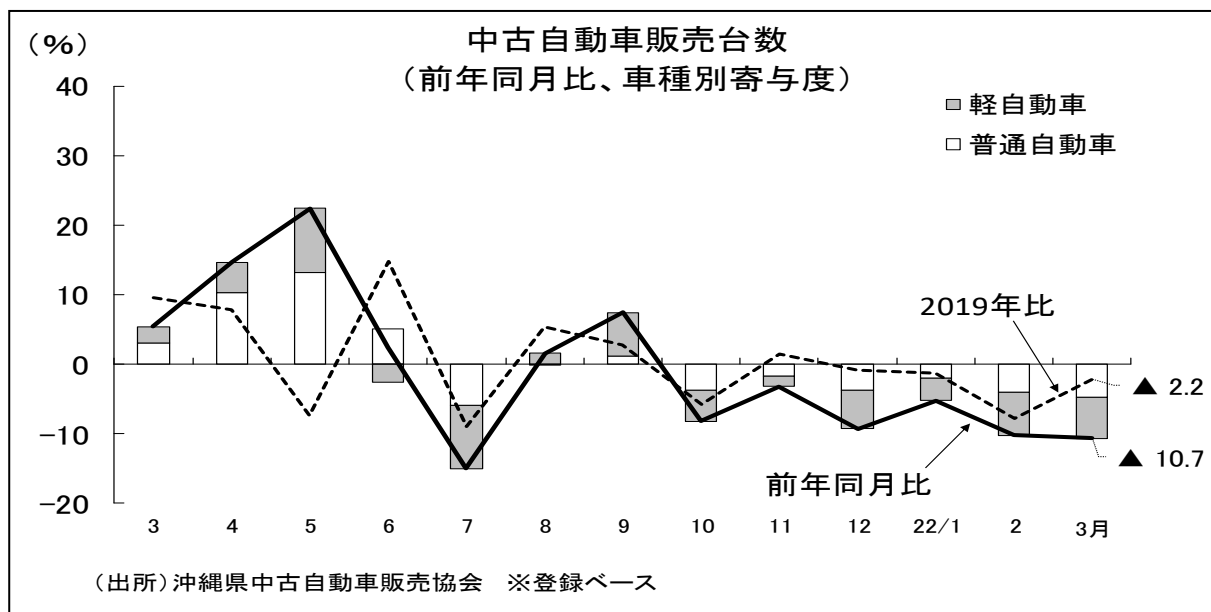
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 1.5% 増と 2 カ月ぶりに前年を上回った。
- 食料品は、巣ごもり需要の継続がみられたことなどから同 2.6% 増となった。衣料品は同 8.7% 減、住居関連は同 0.0% 減となった。
- 全店ベースでは、同 1.9% 増と 2 カ月ぶりに前年を上回った。
- 新型コロナ以前の 2019 年と比較すると、既存店ベースでは 2.0% の増加となった。

(3) 新車販売台数：10カ月連続で減少



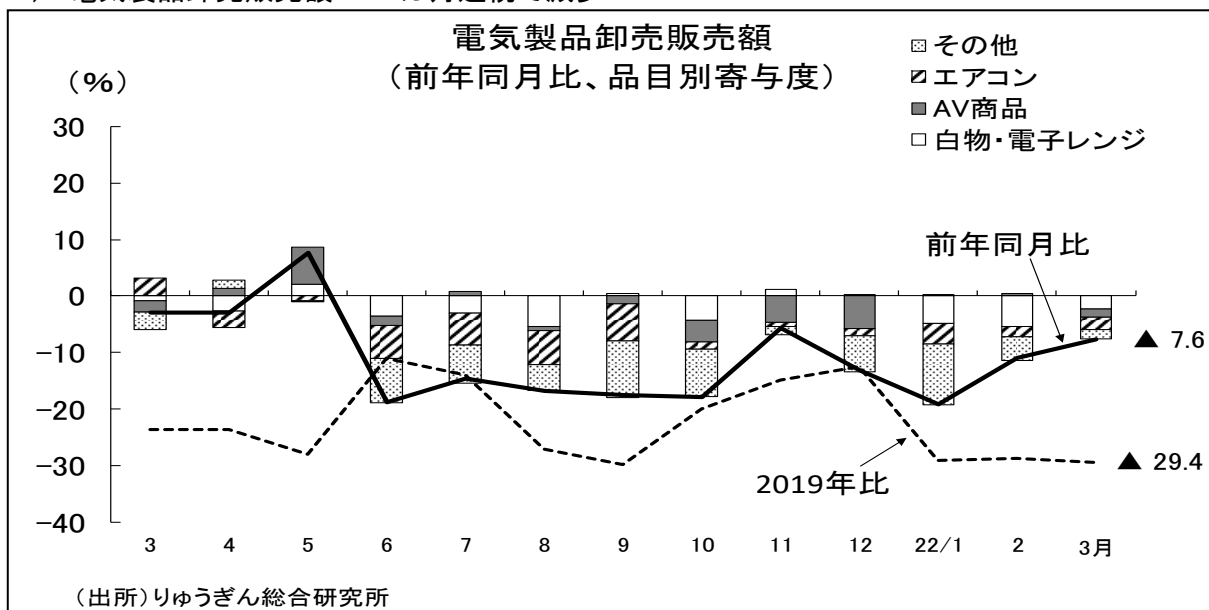
- ・ 新車販売台数は4,362台で前年同月比18.2%減と10カ月連続で前年を下回った。半導体をはじめとする部品供給不足により新車供給の停滞が続いたことなどから前年を下回った。
- ・ 普通自動車（登録車）は2,349台（同3.9%増）で、うち普通乗用車は792台（同21.0%減）、小型乗用車は1,321台（同43.9%増）であった。軽自動車（届出車）は2,013台（同34.5%減）で、うち軽乗用車は1,585台（同37.1%減）であった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、30.2%の減少となった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：6カ月連続で減少



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は2万6,219台で前年同月比10.7%減と6カ月連続で前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は9,879台（同12.4%減）、軽自動車は1万6,340台（同9.6%減）となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、2.2%の減少となった。

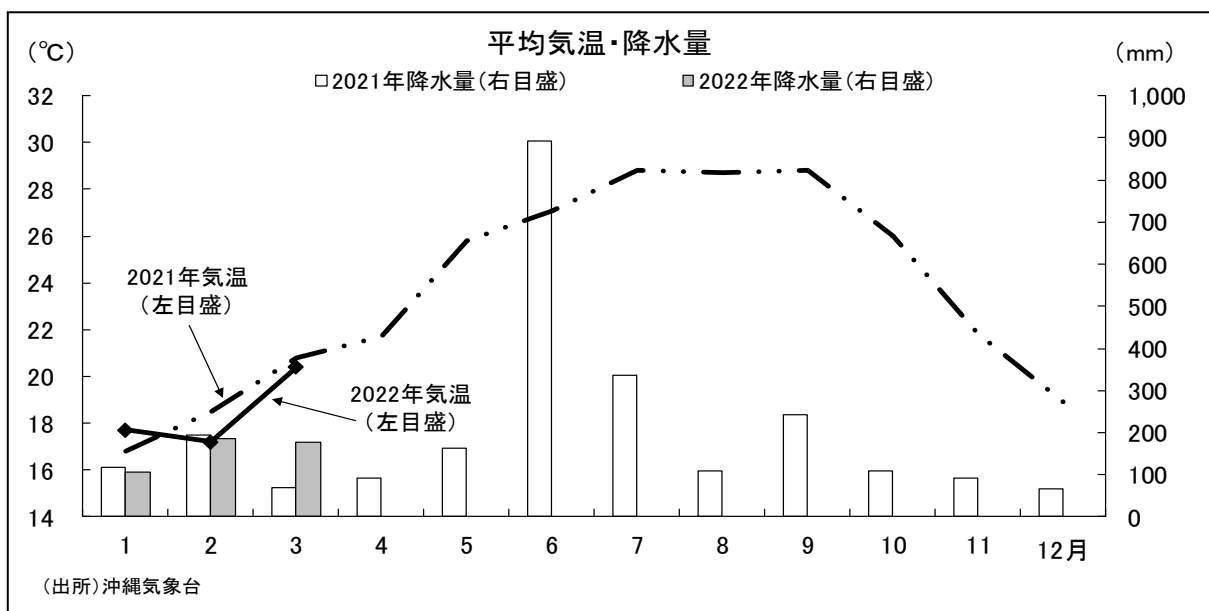
(5) 電気製品卸売販売額：10カ月連続で減少



- ・ 電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売で白物・電子レンジ、エアコンなどが減少したことなどから、前年同月比7.6%減と10カ月連続で前年を下回った。
- ・ 品目別にみると、白物では洗濯機は同15.4%減、冷蔵庫は同10.9%減、AV商品は同13.2%減、エアコンは同7.4%減、その他は同4.7%減となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、29.4%の減少となった。

(参考)

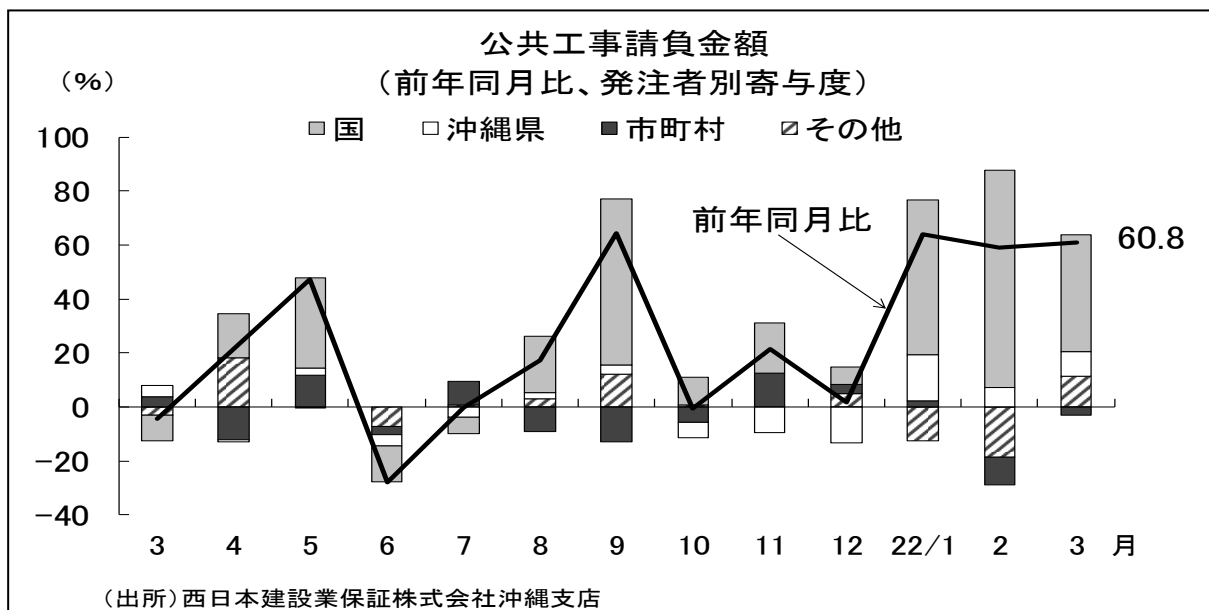
◇ 気象：平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は20.4℃となり、前年同月(20.8℃)より低く、降水量は177.5mmで前年同月(69.5mm)より多かった。
- ・ 高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、月後半にかけては前線や気圧の谷などの影響で曇りや雨の日が多かった。また、低気圧や前線の通過に伴い大雨や荒れた天気となった所があった。平均気温は平年より高く、降水量、日照時間は平年より多かった。

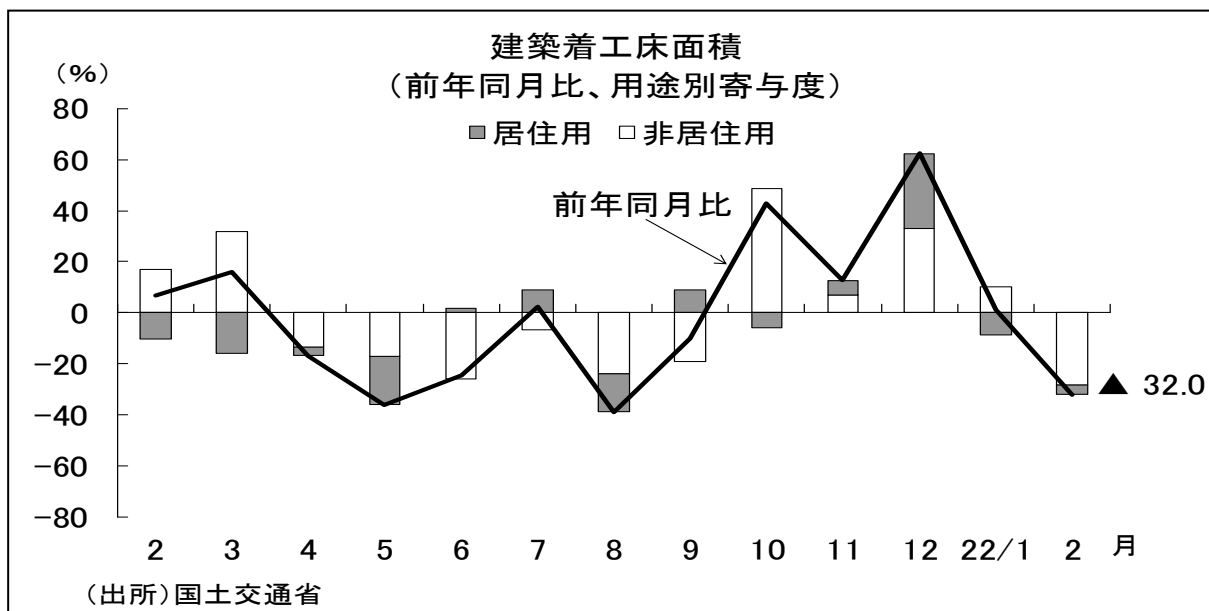
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：5カ月連続で増加



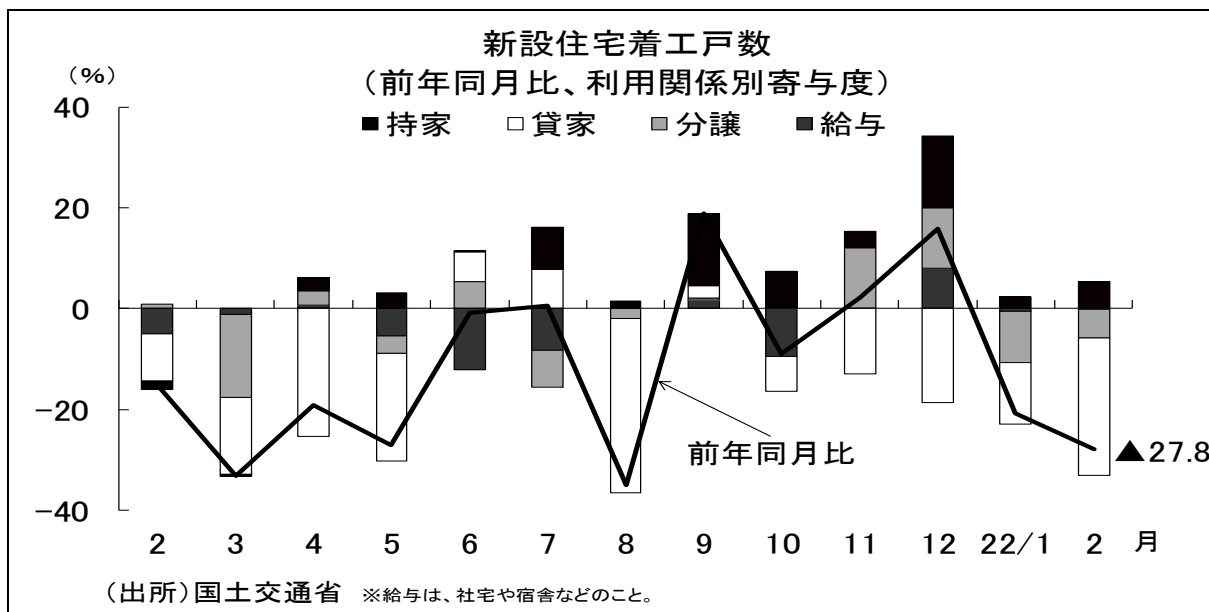
- 公共工事請負金額は、548億3,974万円であり、市町村は減少したが、国、県、独立行政法人等・その他は増加したことから前年同月比60.8%増となり、5カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、国(同97.0%増)、県(同34.7%増)、独立行政法人等・その他(同155.6%増)は増加し、市町村(同13.1%減)は減少した。

(2) 建築着工床面積：5カ月ぶりに減少



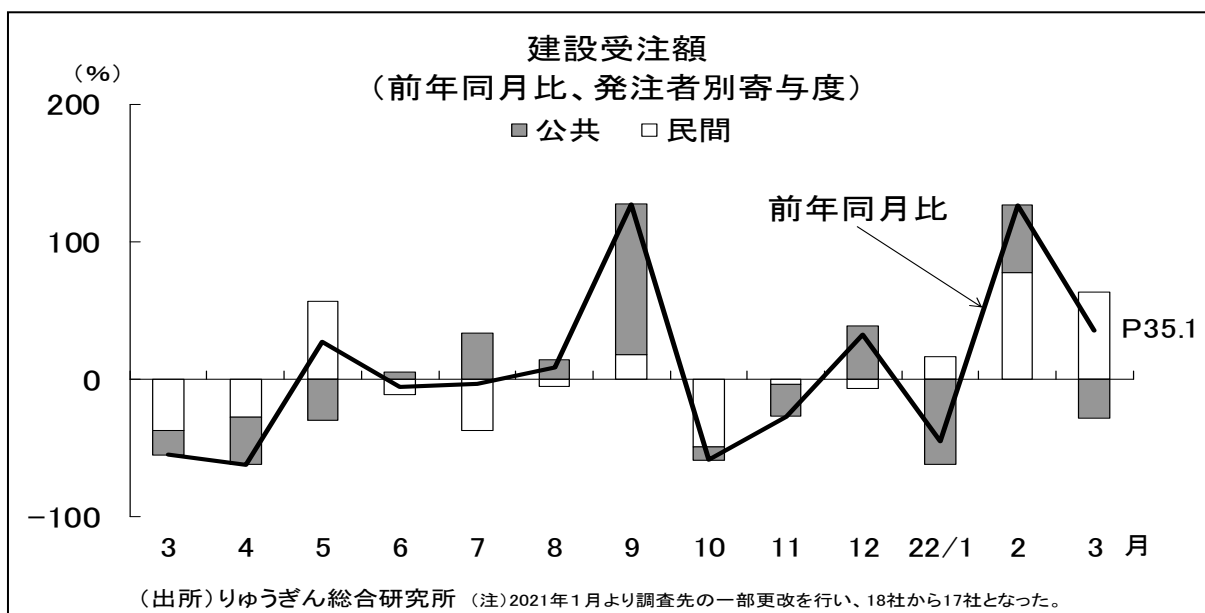
- 建築着工床面積(2月)は8万2,192㎡となり、居住用、非居住用ともに減少したことから前年同月比32.0%減と5カ月ぶりに前年を下回った。用途別では、居住用は同7.4%減となり、非居住用は同56.0%減となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用は増加し、居住産業併用は減少した。非居住用では、製造業用などが増加し、飲食店・宿泊業用や運輸業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月連続で減少



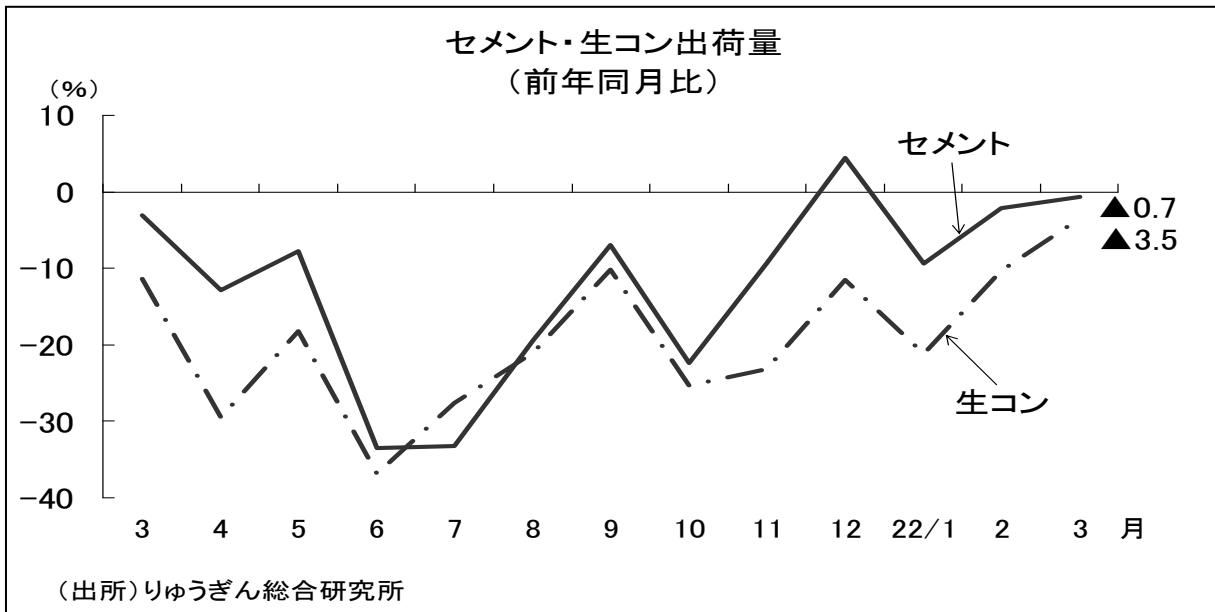
- ・ 新設住宅着工戸数（2月）は 542 戸となり、持家は増加したが、貸家、分譲、給与は減少したことから前年同月比 27.8%減と 2 カ月連続で前年を下回った。
- ・ 利用関係別では、持家（220 戸）が同 22.2%増と増加し、貸家（137 戸）が同 60.1%減、分譲（183 戸）が同 18.7%減、給与（2 戸）が同 33.3%減と減少した。

(4) 建設受注額：2カ月連続で増加



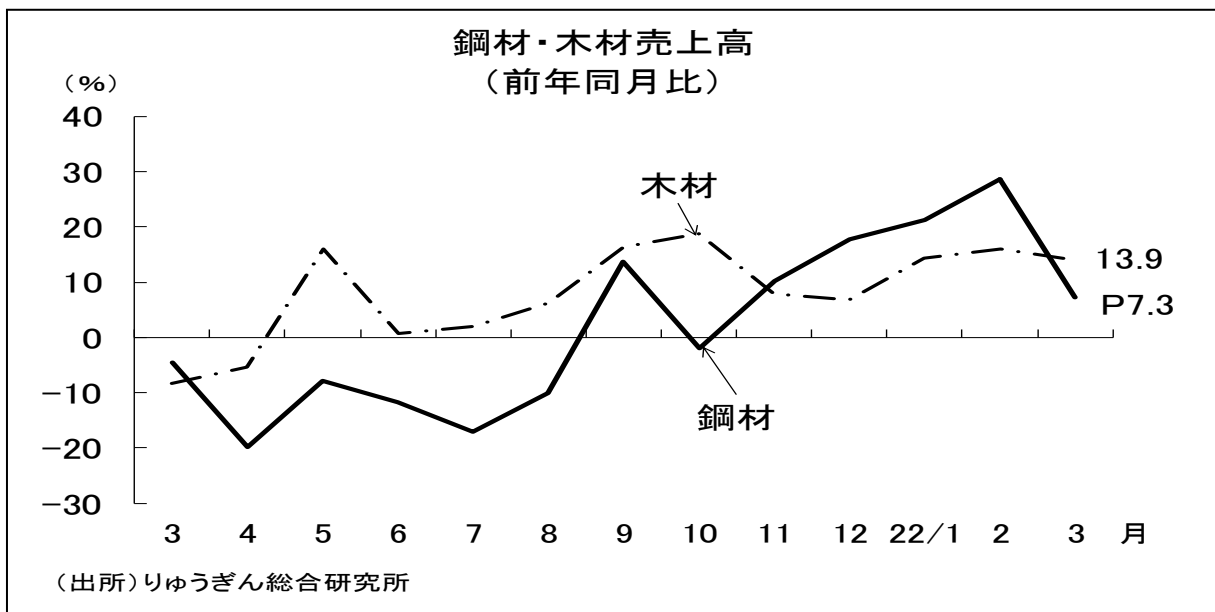
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17 社、速報値）は、公共工事は減少したものの、民間工事は増加したことから、前年同月比 35.1%増と 2 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同 32.4%減）は 2 カ月ぶりに減少し、民間工事（同 545.0%増）は 3 カ月連続で増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは3カ月連続で減少、生コンは21カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は7万2,399トンとなり、前年同月比0.7%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は11万2,982 m³で同3.5%減となり、21カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、橋梁関連向けや一般土木向けなどが増加し、公営住宅向けなどが減少した。民間工事では、社屋関連向けや医療関連向けなどが増加し、宿泊施設向けなどが減少した。

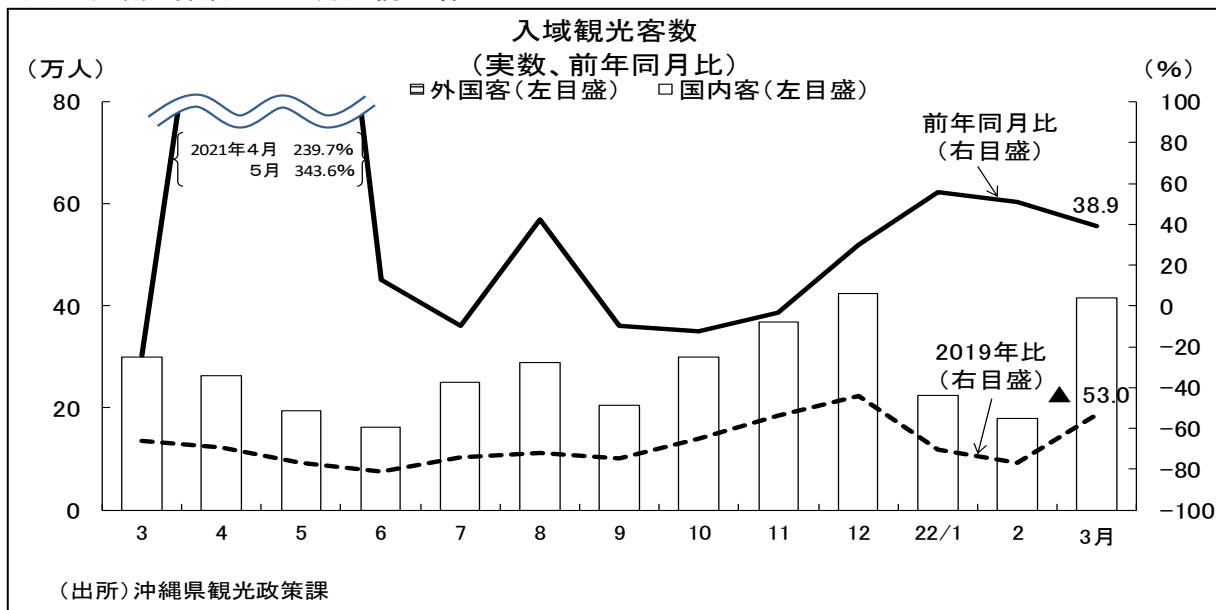
(6) 鋼材・木材：鋼材は5カ月連続で増加、木材は11カ月連続で増加



- ・ 鋼材売上高（速報値）は、鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により単価の上昇がみられることなどから前年同月比7.3%増と5カ月連続で前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから同13.9%増と11カ月連続で前年を上回った。

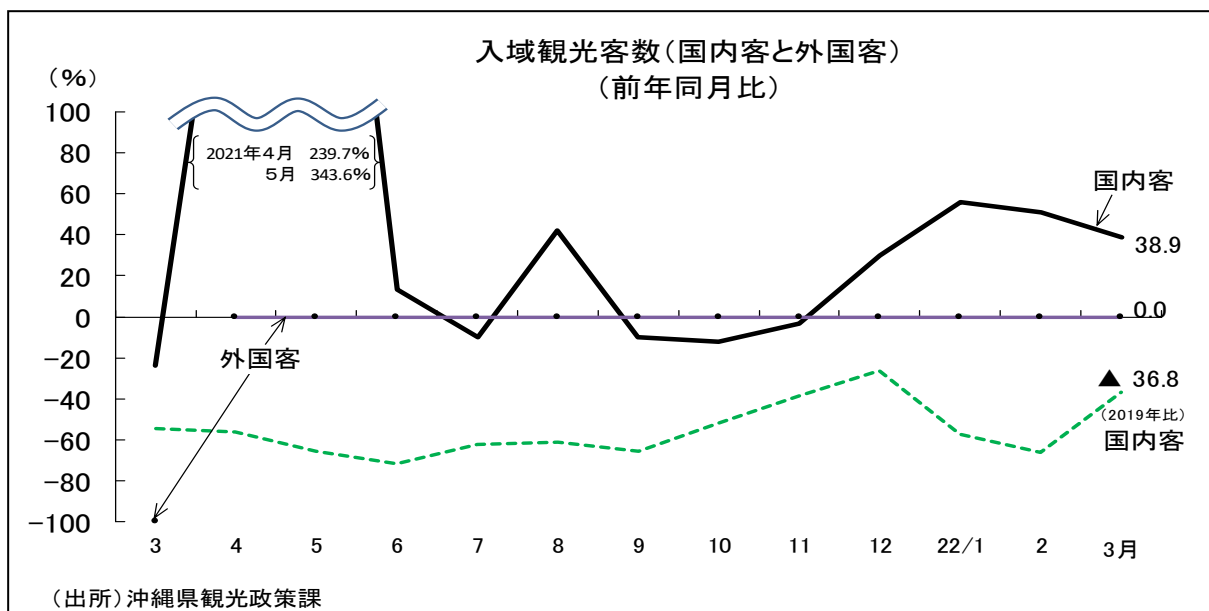
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：4カ月連続で増加



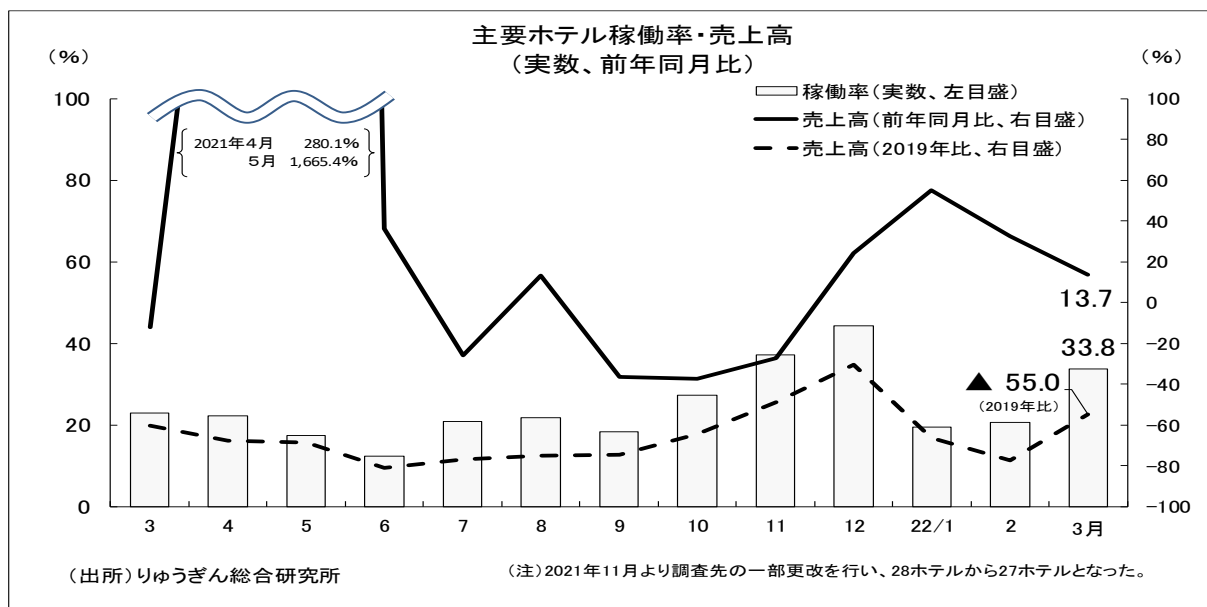
- 入域観光客数は、41万5,700人（前年同月比38.9%増）となり、4カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は41万4,400人（同39.1%増）となり4カ月連続で前年を上回った。海路は1,300人（同8.3%増）となり2カ月連続で前年を上回った。
- 一部地域でまん延防止等重点措置が適用されていたものの、前年同月は緊急事態宣言が発出されていたことや、ワクチン接種が普及していることなどから前年比は上昇した。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は53.0%の減少となった。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は増加、外国客は24カ月連続で0人



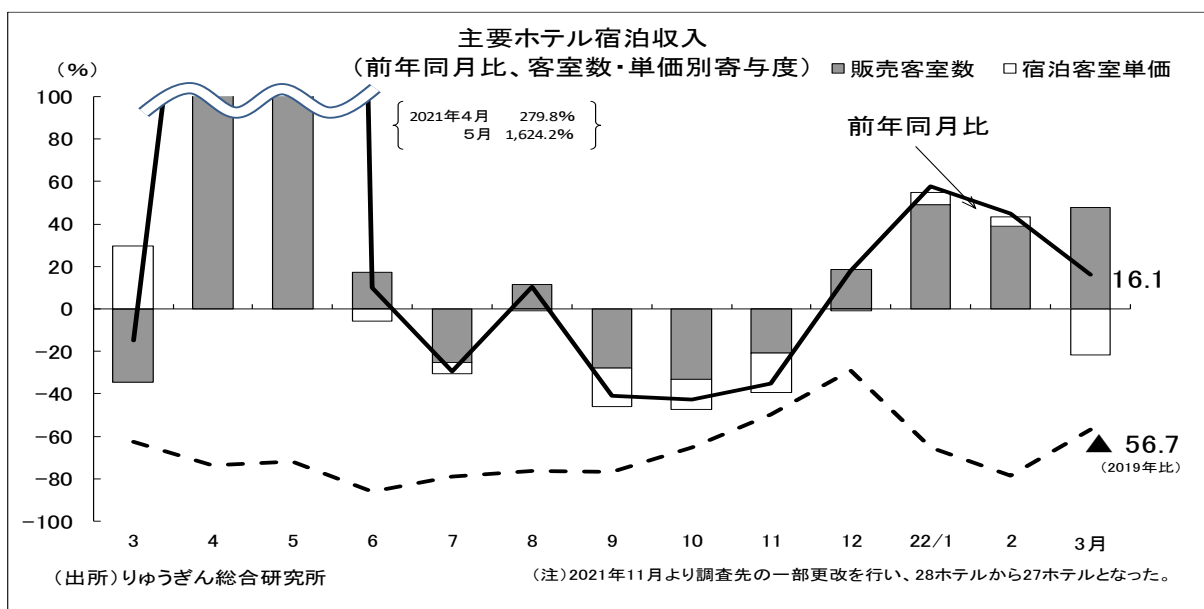
- 国内客は、41万5,700人（前年同月比38.9%増）となり、4カ月連続で前年を上回った。
- 外国客は、2020年4月以降24カ月連続で0人となった。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、国内客は36.8%の減少、外国客は全減となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率、売上高ともに4カ月連続で増加



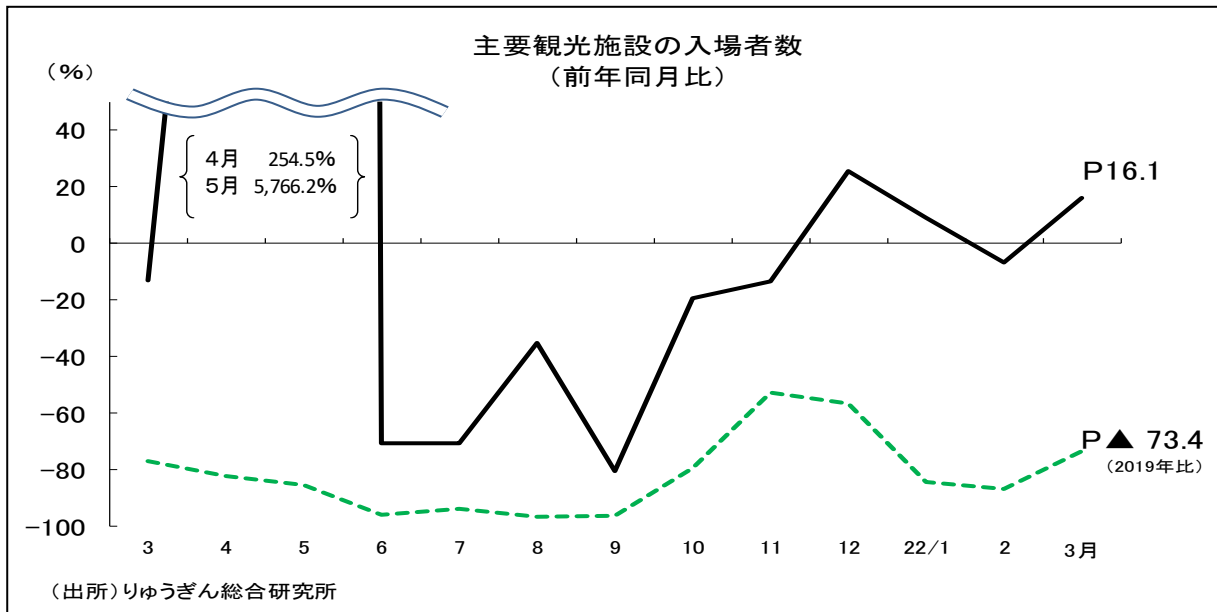
- 主要ホテルは、客室稼働率は33.8%と前年同月差10.9%ポイント上昇、売上高は前年同月比13.7%増となり、稼働率、売上高ともに4カ月連続で前年を上回った。那覇市内ホテルの客室稼働率は43.1%と同18.2%ポイント上昇、売上高は同16.1%増となり、稼働率、売上高ともに4カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルの客室稼働率は31.4%と同9.3%ポイント上昇、売上高は同13.2%増と、稼働率、売上高ともに4カ月連続で前年を上回った。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した売上高は、全体は55.0%の減少、那覇市内ホテルは65.2%減少、リゾート型ホテルは52.2%減少となった。

(4) 主要ホテル宿泊収入：4カ月連続で増加



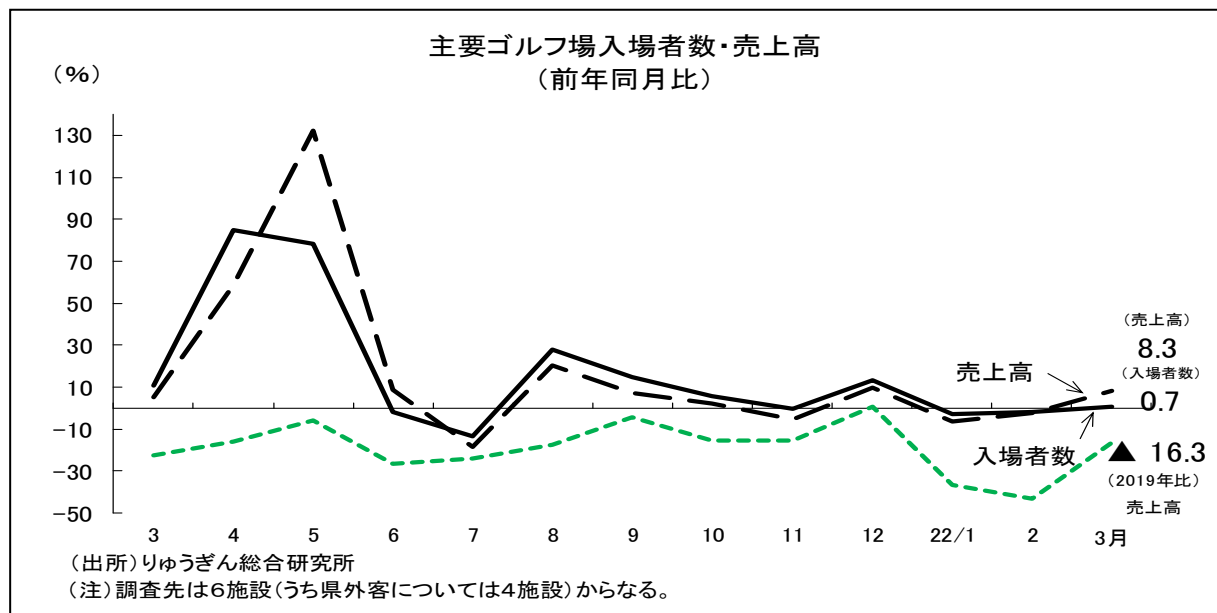
- 主要ホテル売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）増加、宿泊客室単価（価格要因）は低下し、前年同月比16.1%増と4カ月連続で前年を上回った。那覇市内ホテルは販売客室数が増加、宿泊客室単価は低下し、同2.9%増と4カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは販売客室数が増加、宿泊客室単価が低下し、同19.0%増と4カ月連続で前年を上回った。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した宿泊収入は、全体は56.7%の減少、那覇市内ホテルは68.0%減少、リゾート型ホテルは53.6%減少となった。

(5) 主要観光施設の入場者数：2カ月ぶりに増加



- ・ 主要観光施設の入場者数（速報値）は、前年同月比 16.1%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 一部地域においてまん延防止等重点措置が適用されていたものの、春休みや卒業旅行などで観光施設利用者が増加した。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した入場者数は、73.4%の減少となった。

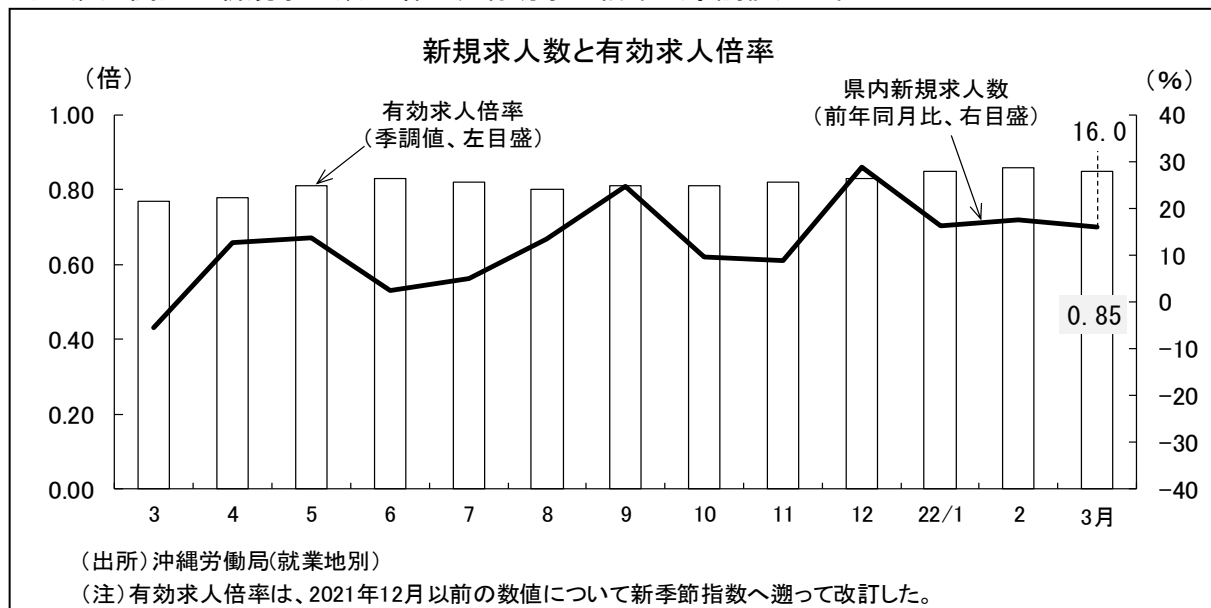
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに3カ月ぶりに増加



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 0.7%増と3カ月ぶりに前年を上回った。県内客は2カ月ぶりに前年を上回り、県外客は5カ月連続で前年を上回った。売上高は同 8.3%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 沖縄県内でまん延防止措置が全面解除となったことを受け、大型コンペの再開や、飲食利用者の増加がみられた。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較すると、入場者数は0.2%増加(県内客は増加、県外客は減少)、売上高は16.3%の減少となった。

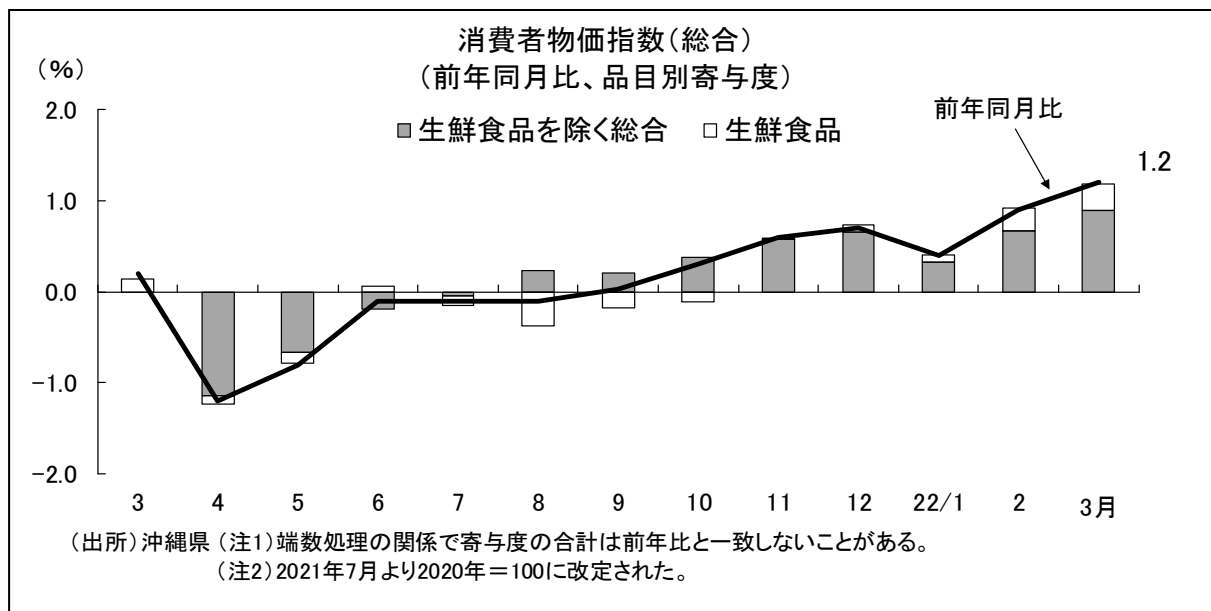
4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は増加、有効求人倍率（季調値）は低下



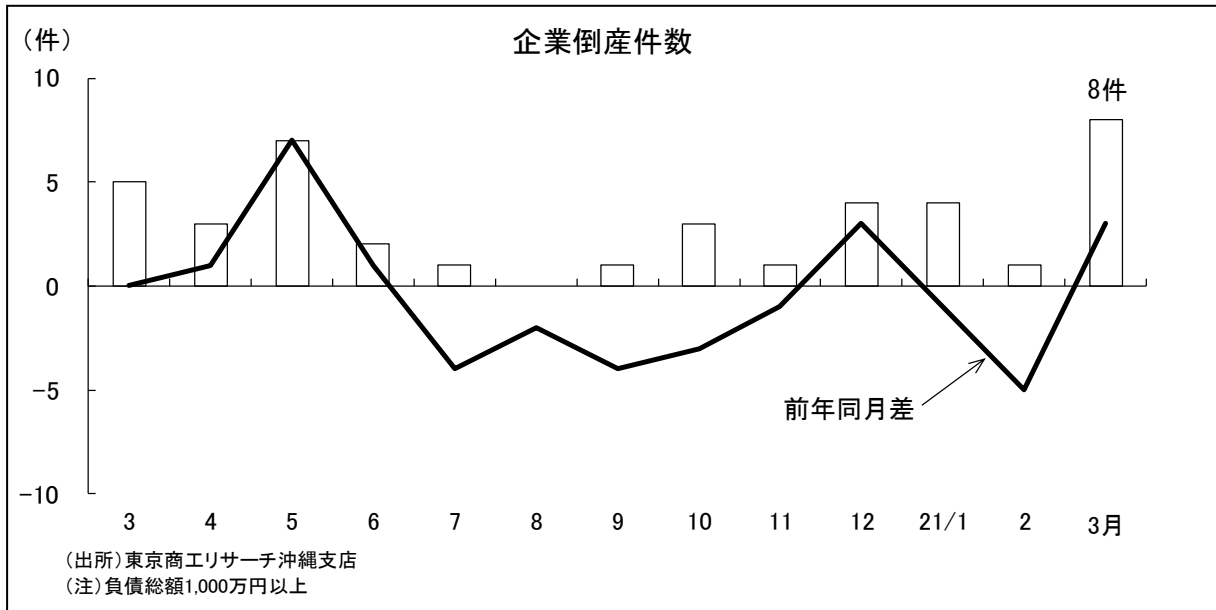
- ・ 新規求人数は、前年同月比 16.0%増となり 12 カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、サービス業、卸売・小売業などで増加した。有効求人倍率 (季調値) は 0.85 倍で、前月より 0.01 ポイント低下した。
- ・ 労働力人口は、77 万 4,000 人で同 3.1%増となり、就業者数は、74 万 8,000 人で同 4.2%増となった。完全失業者数は 2 万 6,000 人で同 21.2%減となり、完全失業率 (季調値) は 3.2%と、前月より 1.2 ポイント低下した。

(2) 消費者物価指数：6 カ月連続で上昇



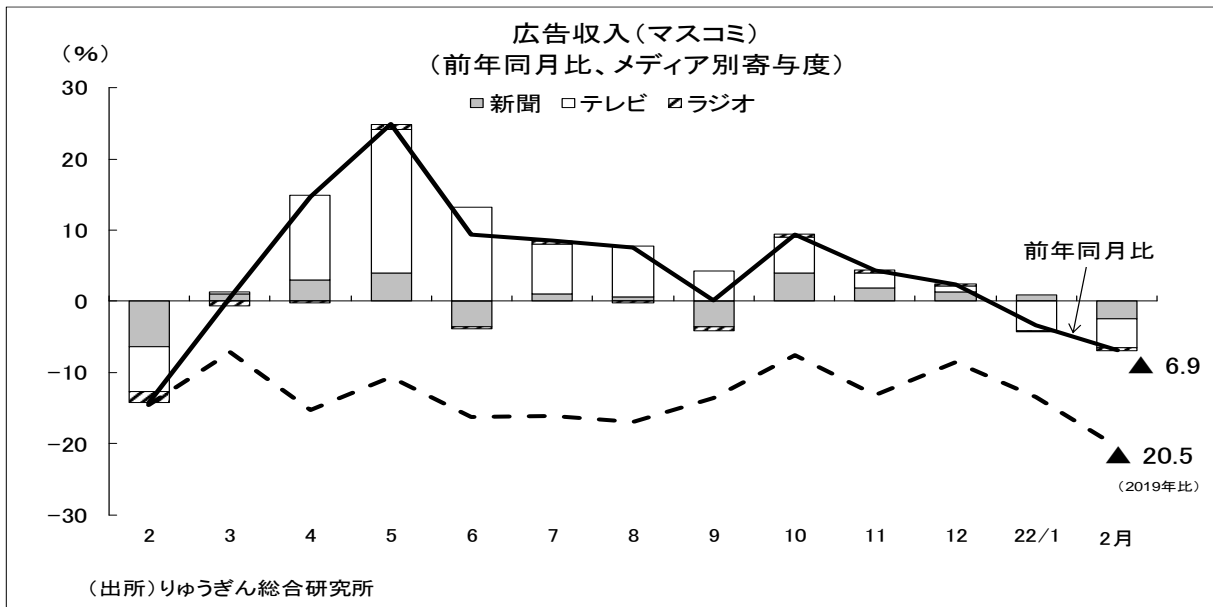
- ・ 消費者物価指数は、前年同月比 1.2%の上昇となり、6 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 0.7%の上昇となった。生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 1.2%の下落となった。
- ・ 品目別の動きをみると、光熱・水道、食料などは上昇し、交通・通信などは下落した。

(3) 企業倒産：件数は増加、負債総額は減少



- 倒産件数は、8件で前年同月を3件上回った。業種別では、建設業1件(同数)、卸売業2件(同2件増)、小売業1件(同数)、サービス業他4件(同2件増)となった。
- 負債総額は9億3,500万円で、前年同月比83.7%減となった。

(4) 広告収入(マスコミ)：2カ月連続で減少



- 広告収入(マスコミ：2月)は、前年同月比6.9%減と2カ月連続で前年を下回った。
- まん延防止等重点措置が適用されイベント等の開催が見送られた結果、前年比減少となった。
- 新型コロナ以前の2019年と比較すると、20.5%の減少となった。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19

沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2019	▲ 4.8	▲ 0.1	1.4	11.3	▲ 0.7	3.6	326,534	▲ 5.8	1,849	▲ 19.4
2020	▲ 35.1	0.4	2.5	▲ 2.8	▲ 17.1	0.5	308,119	▲ 5.6	1,555	▲ 15.9
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	▲ 8.8	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2021 2	▲ 22.6	▲ 2.0	0.1	▲ 6.1	▲ 15.6	6.6	15,448	5.8	121	6.5
3	▲ 3.5	▲ 2.3	▲ 0.4	▲ 2.9	1.0	5.4	34,094	▲ 4.5	203	15.9
4	113.0	▲ 2.3	▲ 0.3	▲ 23.1	▲ 9.5	14.6	28,352	21.3	146	▲ 16.8
5	56.4	▲ 1.2	0.8	7.7	30.4	22.4	28,056	47.3	87	▲ 36.1
6	▲ 34.3	▲ 5.7	▲ 3.8	▲ 18.8	▲ 11.7	2.3	21,608	▲ 27.9	122	▲ 24.5
7	▲ 20.8	▲ 1.2	0.7	▲ 14.6	▲ 9.1	▲ 15.0	44,439	▲ 0.3	129	2.2
8	▲ 13.7	▲ 4.1	▲ 3.8	▲ 16.8	▲ 10.5	1.5	35,562	17.2	90	▲ 38.9
9	▲ 1.2	▲ 0.4	0.5	▲ 17.5	▲ 38.7	7.4	53,814	64.3	89	▲ 10.1
10	▲ 3.0	1.9	2.9	▲ 17.9	▲ 29.3	▲ 8.2	26,721	▲ 0.6	200	42.8
11	▲ 0.5	▲ 1.9	▲ 0.9	▲ 5.7	▲ 15.6	▲ 3.3	21,981	21.6	127	12.7
12	▲ 7.2	▲ 1.9	▲ 0.9	▲ 13.2	▲ 10.1	▲ 9.3	17,959	1.6	136	62.5
2022 1	▲ 16.3	0.3	1.2	▲ 19.1	▲ 22.7	▲ 5.3	26,815	64.1	123	1.3
2	▲ 9.3	▲ 1.1	▲ 0.3	▲ 11.0	▲ 24.4	▲ 10.3	24,548	58.9	82	▲ 32.0
3	3.3	1.5	1.9	▲ 7.6	▲ 18.2	▲ 10.7	54,839	60.8	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2019	15,098	▲ 10.1	▲ 11.9	0.3	1.4	4.0	7.2	▲ 3.4	▲ 0.9	▲ 2.2
2020	10,703	▲ 29.1	3.1	▲ 10.0	▲ 10.4	▲ 11.6	▲ 11.6	▲ 72.1	▲ 7.6	▲ 15.7
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 10.6	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 5.7	3.1	▲ 42.1	8.6	3.9
2021 2	751	▲ 15.0	33.5	▲ 21.7	▲ 25.1	▲ 23.5	▲ 7.4	▲ 79.2	▲ 21.4	▲ 14.2
3	731	▲ 33.2	▲ 54.9	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 4.5	▲ 8.4	▲ 13.1	11.0	0.6
4	913	▲ 19.1	▲ 61.9	▲ 12.9	▲ 29.5	▲ 19.9	▲ 5.4	254.5	84.9	14.7
5	744	▲ 27.0	27.0	▲ 7.8	▲ 18.2	▲ 7.8	16.0	5,766.2	78.4	24.9
6	761	▲ 0.8	▲ 5.6	▲ 33.6	▲ 36.8	▲ 11.7	0.8	▲ 70.7	▲ 1.6	9.4
7	901	0.6	▲ 3.6	▲ 33.2	▲ 27.6	▲ 17.1	2.0	▲ 70.6	▲ 13.6	8.5
8	646	▲ 34.9	8.9	▲ 19.5	▲ 21.0	▲ 10.0	6.2	▲ 35.3	27.8	7.5
9	713	18.8	127.4	▲ 7.0	▲ 10.2	13.8	16.4	▲ 80.4	14.6	0.2
10	897	▲ 8.9	▲ 58.6	▲ 22.3	▲ 25.3	▲ 1.9	18.7	▲ 19.3	5.8	9.3
11	882	2.3	▲ 26.9	▲ 9.4	▲ 23.2	10.3	7.8	▲ 13.4	▲ 0.2	4.3
12	931	15.8	32.4	4.4	▲ 11.5	17.9	6.8	25.5	13.1	2.4
2022 1	633	▲ 20.7	▲ 44.9	▲ 9.3	▲ 21.1	21.3	14.3	9.0	▲ 3.0	▲ 3.3
2	542	▲ 27.8	P126.5	▲ 2.1	▲ 10.3	28.6	16.0	▲ 6.9	▲ 1.9	▲ 6.9
3	-	-	P35.1	▲ 0.7	▲ 3.5	P7.3	13.9	P16.1	0.2	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

注) ゴルフ場入場者数は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2019	10,163.9	3.2	2,930.0	0.9	80.9	69.7	▲ 1.3	▲ 3.4	87.1	▲ 3.2
2020	3,736.6	▲ 63.2	256.9	▲ 91.2	31.7	31.6	▲ 65.2	▲ 58.8	76.0	12.9
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0	-	-
2021 2	118.8	▲ 79.9	0.0	▲ 100.0	18.3	13.1	▲ 77.8	▲ 81.3	81.2	▲ 18.9
3	299.2	▲ 24.5	0.0	▲ 100.0	24.4	22.1	▲ 33.7	▲ 9.2	94.4	▲ 14.8
4	262.6	239.7	0.0	0.0	21.4	22.3	118.6	338.8	81.1	▲ 10.8
5	195.2	343.6	0.0	0.0	16.8	17.4	526.4	2,358.3	72.2	10.2
6	162.9	13.0	0.0	0.0	15.0	11.3	3.9	78.4	68.2	▲ 7.9
7	250.4	▲ 9.7	0.0	0.0	22.2	20.4	▲ 30.4	▲ 25.5	68.5	▲ 9.8
8	288.2	42.1	0.0	0.0	21.1	21.9	▲ 25.4	17.2	65.7	▲ 10.5
9	204.9	▲ 10.0	0.0	0.0	17.5	18.8	▲ 32.0	▲ 37.5	69.2	▲ 0.8
10	299.0	▲ 12.4	0.0	0.0	27.4	27.9	▲ 21.9	▲ 38.7	77.0	6.0
11	368.0	▲ 3.4	0.0	0.0	41.7	35.6	▲ 4.9	▲ 30.4	74.7	0.1
12	423.5	29.8	0.0	0.0	50.5	42.0	45.6	20.5	84.6	12.0
2022 1	224.6	56.0	0.0	0.0	22.2	18.3	34.0	59.9	76.2	▲ 0.8
2	179.1	50.8	0.0	0.0	26.9	18.3	5.3	44.0	73.7	▲ 2.9
3	415.7	38.9	0.0	0.0	43.1	31.4	16.1	13.2	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2021年11月より調査先が28ホテルから27ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	通関輸出	通関輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2019	50	5,714	▲ 54.0	0.4	2.7	2.7	1.34	3.3	31,126	148,698
2020	34	3,640	▲ 36.3	▲ 0.3	3.3	0.1	0.90	▲ 27.2	30,063	120,799
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.7	0.4	0.80	0.7	44,890	126,238
2021 2	6	454	▲ 14.3	▲ 0.1	3.7	▲ 1.2	0.75	▲ 24.5	1,338	7,295
3	5	5,753	541.4	0.3	4.4	▲ 1.2	0.76	▲ 5.5	4,472	7,239
4	3	37	23.3	▲ 0.4	3.9	2.9	0.78	12.7	16,931	7,333
5	7	1,359	100.0	▲ 0.2	3.4	0.8	0.83	13.6	1,879	9,946
6	2	337	▲ 31.2	0.5	3.7	0.0	0.88	2.5	1,823	7,891
7	1	154	▲ 82.1	▲ 0.1	4.5	▲ 0.7	0.84	4.9	1,327	11,308
8	0	0	▲ 100.0	▲ 0.1	3.6	0.4	0.79	13.6	1,720	23,380
9	1	26	▲ 69.0	0.0	3.2	0.6	0.80	24.8	1,966	7,481
10	3	434	20.6	0.3	2.4	1.0	0.80	9.7	4,299	14,005
11	1	320	267.8	0.6	3.4	0.7	0.81	8.9	5,492	11,252
12	4	1,803	1,948.9	0.7	3.8	1.9	0.82	28.8	2,126	12,528
2022 1	4	2,819	803.5	0.4	4.0	4.0	0.85	16.3	1,488	10,830
2	1	10	▲ 97.8	0.9	4.4	0.5	0.86	17.6	26,277	7,384
3	8	935	▲ 83.7	1.2	3.2	4.2	0.85	16.0	5,898	10,632
出所	東京商工リサーチ沖縄支店		県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2020年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2019FY	2,658	4,076	▲ 1,415	1.465	189	▲ 5.9	3,381	▲ 6.0	5	0.002
2020FY	3,019	2,812	206	1.399	165	▲ 13.1	3,016	▲ 10.8	7	0.002
2021FY	-	-	-	1.356	150	▲ 9.0	2,720	▲ 9.8	106	0.039
2021 2	189	190	▲ 1	1.389	12	▲ 11.0	216	0.7	0	0.000
3	198	269	▲ 70	1.386	16	▲ 8.0	299	▲ 5.3	0	0.000
4	316	180	136	1.385	14	▲ 7.2	251	▲ 13.6	3	0.012
5	130	284	▲ 154	1.374	13	5.2	242	8.7	0	0.000
6	233	239	▲ 6	1.371	14	▲ 17.3	257	▲ 14.5	0	0.000
7	245	200	45	1.369	12	▲ 20.3	199	▲ 29.9	0	0.000
8	219	225	▲ 6	1.367	14	0.9	281	7.7	0	0.000
9	215	250	▲ 35	1.366	12	▲ 4.7	216	▲ 7.8	0	0.001
10	224	212	11	1.362	11	▲ 16.8	184	▲ 12.4	1	0.005
11	200	197	2	1.364	14	▲ 6.1	243	▲ 9.5	61	0.250
12	510	191	319	1.356	12	▲ 8.7	197	▲ 9.6	6	0.032
2022 1	107	393	▲ 286	1.357	12	3.5	223	4.8	16	0.072
2	195	239	▲ 43	1.355	11	▲ 7.6	209	▲ 3.4	14	0.068
3	-	-	-	-	12	▲ 21.2	219	▲ 26.6	4	0.020
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2019FY	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
2020FY	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
2021FY	58,037	4.1	41,033	0.5	-	-	10,428	1.0	-	-
2021 2	55,647	11.7	40,652	4.4	56,271	12.1	10,387	22.9	2,720	130.0
3	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
4	57,066	10.6	40,714	4.2	57,685	10.9	10,326	16.3	2,958	119.2
5	57,305	8.6	40,752	3.5	57,922	8.9	10,327	11.4	2,981	100.3
6	57,507	6.1	40,754	3.0	58,131	6.4	10,378	6.8	2,988	67.6
7	57,281	5.8	40,763	2.5	57,962	6.1	10,422	4.6	2,993	47.8
8	57,394	4.8	40,751	2.0	58,038	5.0	10,419	3.3	2,997	35.5
9	57,072	4.6	41,019	2.4	57,742	4.9	10,534	3.6	2,995	26.8
10	57,462	4.8	41,015	2.5	58,113	5.0	10,513	2.8	2,999	22.3
11	57,690	4.1	40,692	1.5	58,280	4.2	10,491	2.2	2,995	19.1
12	57,604	3.8	41,195	2.3	58,314	4.0	10,470	0.8	3,001	15.2
2022 1	57,616	4.2	40,793	1.2	58,275	4.2	10,456	0.8	3,002	12.1
2	57,626	3.6	40,798	0.4	58,247	3.5	10,444	0.6	3,000	10.3
3	58,037	4.1	41,033	0.5	-	-	10,428	1.0	-	-
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。